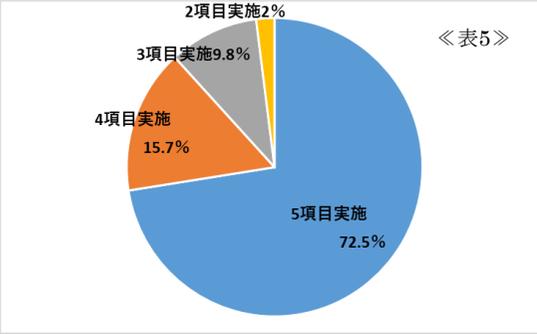
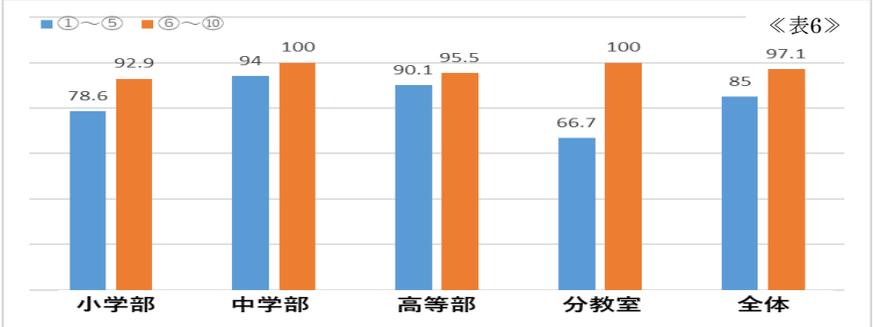


令和2年度 自己評価(中間評価結果)

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	中間集計結果	分析(成果と課題)																																										
<p>(1) 児童生徒の確かな学びにつながる授業改善と専門性の向上を図る。</p>	<p>① チームティーチングの事前や事後の打合せで指導のねらいや評価等の共通理解を行い、効果的な指導となるようにする。</p>	<p>チームティーチングの効果的な手法(5項目:別途提示)を4項目以上取り組んでいると答えた職員の割合 A:80%以上 B:60%以上 C:50%以上 D:50%未満</p> <p>5項目 ・事前の児童生徒の個別の目標の共通理解 ・事前の支援内容の共通理解 ・事前の評価の仕方の共通理解 ・共通理解を図った事項に注意して授業を行っている。 ・事後の評価や支援内容の反省に基づく改善策検討</p>	<p>各教員の達成度の割合 ① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施</p> <p>【教員アンケート結果】 (単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>①+②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>20.0</td> <td>53.3</td> <td>20.0</td> <td>6.7</td> <td>0</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>45.5</td> <td>36.4</td> <td>18.2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>72.7</td> <td>18.2</td> <td>4.5</td> <td>0</td> <td>4.5</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>52.9</td> <td>31.4</td> <td>11.8</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>84.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成基準】A以上 【結果】A 84.3%</p>		①	②	③	④	⑤	①+②	小	20.0	53.3	20.0	6.7	0	73.3	中	45.5	36.4	18.2	0	0	81.9	高	72.7	18.2	4.5	0	4.5	90.9	分	100	0	0	0	0	100.0	全体	52.9	31.4	11.8	2.0	2.0	84.3	<p>チームティーチング(TT)を実施する上で必要な4項目以上の実施率は、《表1》のとおり。小学部は達成基準に満たなかったが、全体では、84.3%とA評価となった。</p> <p>項目別に見ると、目標や支援内容についての共通理解の項目は全体で80%を超える実施率であったが、評価の共有については全体の約60%の実施にとどまった。その理由としては、評価を話し合う時間がとりにくいという意見が多かった。評価を共有するシステムを検討する。 今回「限られた時間の中でTTを行うための工夫点」についてアンケートを行った。そのアイデアを共有してTTの充実につなげていく。</p>
	①	②	③	④	⑤	①+②																																								
小	20.0	53.3	20.0	6.7	0	73.3																																								
中	45.5	36.4	18.2	0	0	81.9																																								
高	72.7	18.2	4.5	0	4.5	90.9																																								
分	100	0	0	0	0	100.0																																								
全体	52.9	31.4	11.8	2.0	2.0	84.3																																								
	<p>② 専門性の向上を図り、児童生徒の特性や能力に応じた授業を展開する。</p>	<p>授業参観等で授業内容に満足している保護者や関係機関職員の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満</p>	<p>達成度の割合(単位%) 小 中 高 全体</p> <p>【達成基準】A以上 【結果】</p>	<p>前期は、保護者のみの公開参観を行ったが、アンケートは実施しなかったため、評価は最終評価で行う。</p>																																										

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	中間集計結果	分析(成果と課題)
(2) 系統的に キャリア教育を推進し 進路支援 の充実を 図る。	① 錦城版キャリア 教育プログラムを 活用し、自己選択 や自己決定に関 するものを含め、 児童生徒一人一 人の目標を設定 し実践する。	キャリア発達面の個別設定の 項目で向上が見られた児童生 徒の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	達成度の割合(単位%) 【教員アンケート結果】 小 100 中 66.7 高 78.6 全体 81.7 【達成基準】B以上 【結果】B 81.7%	「個に応じた選択・決定能力の向上」が大切であると考え、個別のねらいに対して向上が見られたかの達成率は、《表2》のとおり、全体では81.7%でB評価となった。 中、高等部のC、D評価については、生徒一人一人の成長の速さが違い、成長段階の途中であるため、達成できなかったと言える。 最終評価時には、全学部が達成基準を満たせるように児童生徒一人一人に応じた具体的な手立てを考え、実践していくことが必要である。
		キャリア教育の具体的な取り 組み内容に満足している保護者 の割合 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	達成度の割合(単位%) 【保護者アンケート結果】 小 100 中 100 高 92.0 全体 97.3 【達成基準】B以上 【結果】A 97.3%	保護者のアンケート結果は、《表3》のとおり、どの学部も保護者の満足度は高かった。全体では97.3%でA評価となった。 保護者にとっては、子どもの「キャリア発達」がしっかりと感じられ、また、教員の児童生徒一人ひとりにおけるねらいが的確であったと言える。
	② 進路の手引き を活用しキャリア 教育や進路支援 の充実を図る。	キャリア教育や進路情報等につ いて、チェックシートによる一定の 達成度の職員の割合 A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満 チェックシートの2項目 ①進路の手引きを基に保護 者らの進路についての質問 に答えられるか。 ②卒業後の福祉サービス内 容に対してそれぞれ違いが わかるか。	達成度の割合(単位%) 【教員アンケート結果】 ① ② 平均 小 91.7 91.7 91.7 中 100 100 100.0 高 90.5 90.5 90.5 分訪 66.7 100 83.4 全体 87.2 95.6 91.4 【達成基準】B以上 【結果】A 91.4%	教員アンケートの全体結果は91.4%となり、《表4》のとおり、A評価となった。 項目①については、小、中 高等部ともに達成基準を 満たした。分教室、訪問は 現状では、Cという結果に なった。保護者からの質問 がほとんどなかったことが 理由と考えられる。 項目②については、全ての 部で達成基準を満たし た。これは、教員一人一人 が日頃から「進路の手引 き」をしっかり熟知してい る結果であると言える。

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	間集計結果	分析(成果と課題)																																																																																				
<p>(3) 安心・安全に関する職員の意識を高め、児童生徒への教育活動の充実を図る。</p>	<p>① マニュアルやヒヤリ ハット等を参考に、日常の安全管理に留意した行動をとり、事故防止や健康管理を行う。</p>	<p>具体的な行動例(自由記述) 1項目を含む6項目:別途提示)に照らして 「A十分に実践している」5項目以上 「B実践している」4項目以上 6項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室、廊下等のゴミに気付く等些細なことに心を配る。 ・教員の目が届いていない場面がないかを配る。 ・防火管理責任箇所の整理を行い不要物はない。 ・必要なマニュアル(個別のものを含む)を確認する。 ・授業等でのヒヤとしたことを他の教員と共通理解する。 ・上記以外で各自が実践していることを1つ自由記述 	<p>各教員の達成度の割合 ① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施</p> <p>【教員アンケート結果】 (単位%)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>①+②</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>69.2</td> <td>23.1</td> <td>0</td> <td>7.7</td> <td>0</td> <td>92.3</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>81.8</td> <td>9.1</td> <td>9.1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>73.9</td> <td>8.6</td> <td>17.4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>82.5</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>72.5</td> <td>15.7</td> <td>9.8</td> <td>2.0</td> <td>0</td> <td>88.2</td> </tr> </table> <p>【達成基準】A50%以上かつ A+B100%</p> <p>【結果】A 72.5% A+B 88.2%</p>		①	②	③	④	⑤	①+②	小	69.2	23.1	0	7.7	0	92.3	中	81.8	9.1	9.1	0	0	90.9	高	73.9	8.6	17.4	0	0	82.5	分	50.0	50.0	0	0	0	100.0	全体	72.5	15.7	9.8	2.0	0	88.2	<p>結果は下記の「表5」のとおり、A評価の割合は72.5%で達成基準を上回ったが、A+Bの割合が88.2%と達成基準に達しなかった。C、D評価をみると、中学部で1名、高等部で4名のC評価、小で1名D評価があった。</p>  <p>項目別では、「防火管理責任箇所の整理を行い不要物がない」で11名、「必要なマニュアルを確認する」で12名が実施していなかった。</p> <p>この2項目が課題であり教職員が高い意識をもって、個々の児童生徒の安全に関する指導支援を行うよう取り組んでいく。</p>																																										
	①	②	③	④	⑤	①+②																																																																																		
小	69.2	23.1	0	7.7	0	92.3																																																																																		
中	81.8	9.1	9.1	0	0	90.9																																																																																		
高	73.9	8.6	17.4	0	0	82.5																																																																																		
分	50.0	50.0	0	0	0	100.0																																																																																		
全体	72.5	15.7	9.8	2.0	0	88.2																																																																																		
	<p>② 健康・安全・防災に関する授業や行事等での実践を行う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に対応した指導及び学校安全計画に即した指導を行っている職員の割合</p> <p>A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満</p> <p>10項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長期休業にあたり生活・交通・災害に関する指導をした。 ②火災時の避難訓練にあたり、安全な避難について指導した。 ③搜索訓練に参加し自分の役割を理解した ④不審者対応講習会に参加し、不審者と対峙する場面での適切な行動を学んだ。 ⑤学校安全計画に基づき授業で安全な活動について指導した。 ⑥児童生徒に消毒または手洗いをを行うように指導した。 ⑦児童生徒が密集しないように指導または環境設定した。 ⑧児童生徒が近距離で会話したり、交流(密接)したりしないように指導または環境設定した。 ⑨授業やその他の学校生活において部屋の換気を行った。又は児童生徒に行うように指導した。 ⑩食事場面において指導を行った。 	<p>達成度の割合(単位%)</p> <p>【教員アンケート結果】 A(十分に行った)+B(行った)の回答(指導課)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>平均</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>64.3</td> <td>85.7</td> <td>85.7</td> <td>85.7</td> <td>71.4</td> <td>78.6</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>80.0</td> <td>100</td> <td>90.0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>76.4</td> <td>89.9</td> <td>100</td> <td>95.5</td> <td>91.0</td> <td>90.1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>66.7</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>33.3</td> <td>100</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>71.9</td> <td>91.9</td> <td>91.9</td> <td>78.6</td> <td>90.6</td> <td>85.0</td> </tr> </table> <p>※項目②③の対象より分教室は外す</p> <p>(保健課)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>平均</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>78.6</td> <td>92.9</td> <td>92.9</td> <td>92.9</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>95.5</td> <td>90.9</td> <td>95.5</td> <td>100</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>98.9</td> <td>97.7</td> <td>93.5</td> <td>98.2</td> <td>97.1</td> <td>97.1</td> </tr> </table> <p>【達成基準】B以上</p> <p>【結果】指導課 C 85.0% 保健課 B 97.1%</p> <p>全体 B 91.1%</p>		①	②	③	④	⑤	平均	小	64.3	85.7	85.7	85.7	71.4	78.6	中	80.0	100	90.0	100	100	94.0	高	76.4	89.9	100	95.5	91.0	90.1	分	66.7	—	—	33.3	100	66.7	全体	71.9	91.9	91.9	78.6	90.6	85.0		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	平均	小	100	100	78.6	92.9	92.9	92.9	中	100	100	100	100	100	100.0	高	95.5	90.9	95.5	100	95.5	95.5	分	100	100	100	100	100	100.0	全体	98.9	97.7	93.5	98.2	97.1	97.1	<p>(指導課①～⑤) 項目①は全ての部で80%以下でありCD評価となった。小学部は、項目①と⑤で70%前後でありD評価となった。これは、部で全体指導は行ったが、児童の実態に応じた指導が十分できなかったという反省があり、取り組みが弱くなった。分教室では、指導時間が制限された状況であったため、十分な指導が難しかった。項目④では分教室の教員が本校の訓練等に参加できなかったため、全体としてはC評価となった。後期は、児童生徒の指導については具体的な指導例を提示すること、各部の「学校安全計画」の実践を推進していくことで充実を図っていく。</p> <p>(保健課⑥～⑩) 項目⑧のみA+B80%以下となっている学部がある。指導の際には、密接にならざるを得ない場面があり、教育効果と密接の指導が相反する部分があり苦慮しながら授業を行っている現状がある。項目⑥においてはD評価があった。再度、教職員に対して新型コロナウイルス感染症の予防の重要性を伝え、生徒への指導の徹底を行う。</p> <p>全体の結果は「表6」のとおり、全体の評価はB評価となった。</p> 
	①	②	③	④	⑤	平均																																																																																		
小	64.3	85.7	85.7	85.7	71.4	78.6																																																																																		
中	80.0	100	90.0	100	100	94.0																																																																																		
高	76.4	89.9	100	95.5	91.0	90.1																																																																																		
分	66.7	—	—	33.3	100	66.7																																																																																		
全体	71.9	91.9	91.9	78.6	90.6	85.0																																																																																		
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	平均																																																																																		
小	100	100	78.6	92.9	92.9	92.9																																																																																		
中	100	100	100	100	100	100.0																																																																																		
高	95.5	90.9	95.5	100	95.5	95.5																																																																																		
分	100	100	100	100	100	100.0																																																																																		
全体	98.9	97.7	93.5	98.2	97.1	97.1																																																																																		

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	中間集計結果	分析(成果と課題)																																																				
(4) 教職員が業務の効率化に向け、校内の諸会議の運営改善を進める。	① 諸会議等に関して、業務の効率化を図るため工夫を行う。	具体的な行動例(自由記述の1項目を含む5項目:別途提示)に照らして、「A十分に実践している」5項目「B実践している」4項目 5項目 ・会議資料は前日までに配付する。 ・配付資料に目を通して会議に臨む。 ・提案や説明の際に「何分間程度」等決めて臨む。 ・会議時間を短くするように意識している。 ・上記以外で各自が実践していることを1つ自由記述	各教員の達成度の割合 ① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施 【教員アンケート結果】 (単位%) <table border="1" data-bbox="808 316 1279 491"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>①+②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>0</td> <td>14.3</td> <td>21.4</td> <td>57.1</td> <td>7.1</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>0</td> <td>40.0</td> <td>50.0</td> <td>10.0</td> <td>0</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>0</td> <td>59.1</td> <td>18.2</td> <td>9.1</td> <td>13.6</td> <td>59.1</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>0</td> <td>33.3</td> <td>66.7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>33.3</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>0</td> <td>36.7</td> <td>39.1</td> <td>19.1</td> <td>5.2</td> <td>36.7</td> </tr> </tbody> </table> 【達成基準】 A50%以上かつ A+B100% 【結果】 A 0% A+B 36.7% ※勤務時間調査結果の分析も加味して評価する。		①	②	③	④	⑤	①+②	小	0	14.3	21.4	57.1	7.1	14.3	中	0	40.0	50.0	10.0	0	40.0	高	0	59.1	18.2	9.1	13.6	59.1	分	0	33.3	66.7	0	0	33.3	全体	0	36.7	39.1	19.1	5.2	36.7	業務の効率化のために5項目を実施したと答えた教員はどの学部もおらずA評価は0%となった。結果は<<表7>>のとおり、4項目実施のB評価は高等部が高く半数以上が占め、小学部では、2項目実施と答えた教員が半数以上となり、学部間で意識の差があることがわかった。 <div data-bbox="1377 252 2072 678" data-label="Figure"> <p style="text-align: right;"><<表7>></p> <table border="1" data-bbox="1377 252 2072 678"> <thead> <tr> <th>項目数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1項目実施</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>2項目実施</td> <td>19.1%</td> </tr> <tr> <td>3項目実施</td> <td>39.1%</td> </tr> <tr> <td>4項目実施</td> <td>36.7%</td> </tr> </tbody> </table> </div> 項目別に見ると、どの学部も会議の配付資料に目を通すこと、会議時間を短くするように意識していると答えた教員が多い。前日に会議資料を配付していると答えた教員が一番多かったのが高等部、一番少なかったが小学部であった。前日から準備をして会議に臨むことが効率化には欠かせないことが分かった。 会議の効率化を図るために個人で工夫していることや自由記述で記入された意見も取り入れながら、後期はA評価の教員を増やし、4項目以上を実施するように働きかけていく。学校再開後の6月以降は、昨年度よりも残業時間が増えているため、後期は残業時間も増加しないように働きかけていく。	項目数	割合	1項目実施	5.2%	2項目実施	19.1%	3項目実施	39.1%	4項目実施	36.7%
	①	②	③	④	⑤	①+②																																																		
小	0	14.3	21.4	57.1	7.1	14.3																																																		
中	0	40.0	50.0	10.0	0	40.0																																																		
高	0	59.1	18.2	9.1	13.6	59.1																																																		
分	0	33.3	66.7	0	0	33.3																																																		
全体	0	36.7	39.1	19.1	5.2	36.7																																																		
項目数	割合																																																							
1項目実施	5.2%																																																							
2項目実施	19.1%																																																							
3項目実施	39.1%																																																							
4項目実施	36.7%																																																							